

病気の予防は
親しく過ごすこと

病院とは？ 誰もが病气やけがを治す場所と答えるだろう。長谷川病院では「人が集まる所」にしたいと考え、多くの人が足を運びたくなるような楽しい企画を仕掛け、笑顔で帰れる場所づくりに努めている。「笑うことが病気の予防にもつながる」と話すのは、副院長・菊池はじめ氏。こだわりの食事はホテルで経験を積んだシェフが手掛け、オーガニック素材を食材に取り入れている。食器も家庭のぬくもりを感じられるように陶器を使用するなど、常に患者の目線で物事を考えるようにしているという。「楽しく健康に暮らせるための地域医療を目指します」と菊池副院長の思いは熱い。

イベント開催！

笑顔が溢れる一日に

7月、病院ではネイル、ハンドマッサー

病院を情報発信基地へ 長谷川病院、地域医療の取り組み

長谷川病院(八街市八街に85)で7月22日、バリ総合美容専門学校千葉校(千葉市中央区長洲1-15-12)の生徒たちによるネイルやハンドマッサージなどの無料体験が行われた。



生徒たちと一緒に
(前中央・菊池副院長、右・寺嶋料理長、左・杉村副料理長)



一本一本慎重に

夫の見舞いで病院に訪れた70代の女性は初ネイルに感激!

ジ、ヘアアレンジの無料体験イベントが行われた。イベントは今年が2回目。混雑を避けるためブースを数箇所に分け設置。診療を受けられない人も、無料で施術を受けられ

る。施術するのは、美容師やエステティシャンなど美容のプロを指す、バリ総合美容専門学校千葉校の生徒20人。この日は、最も印象的だったのは、施術を受けた人たちの笑顔である。母親のデイケアの付き添いで病院を訪れた60代の女性は、初めてネイルに挑戦。一本一本丁寧に色が付いていく様子を食い入るように見つめ「本当によ

ろ、施術を受けた人は、笑顔で病院に来ました」という親子は、ヘアアレンジを選択。親子おそろいのヘアスタイルに、笑顔で病院を後にした。入院患者にも施術が行われ、涙を流し喜ぶ姿も見られたという。

幅広い年齢層の施術も接客も初めてだった生徒たちは「最初は緊張したけど、喜んでくれてうれしかった」「年代ごとで肌の質感が違うので施術の仕方を工夫した」と満足した様子。同校の講師、越川さんは「この体験学習で生徒たちは『介護美容』に興味を持つようになった」と、生徒の視野が広がったことを喜ぶ。

地域医療のあり方、病院の新たな可能性が感じられる長谷川病院。今後も「地域のための病院とは何か」を考え、さまざまな取り組みを続けていく。



工夫しながらアレンジ



担当は神子さん(左)と園田さん(右)

親子おそろいの編み込みヘアスタイル

(O一)